

学習支援センター利用状況および
学習状況に関するアンケート

回答結果

学習支援センターに関するアンケート

本アンケートは、学習支援センターの認知・利用状況、学習環境に関するアンケート（Q1～Q6）、学習状況の把握に関するアンケート（Q7～Q29）、学生の履修や体験学習に関する実態の把握、本学の教育への要望等に関するアンケート（Q30～Q36）の三部から構成されている。

【学習支援センターの認知・利用状況、学習環境に関する質問】

1. 学習支援センターの認知と利用状況についてお答え下さい。

ビジネスデザイン学部生は、「BD学部生回答不要」を選択し、問5へ進んで下さい。

- ☐ 知っていて利用したことがある ⇒問2、問3へ ☐ 知っているが利用したことがない ⇒問2、問4へ
☐ まったく知らない ⇒問5へ ☐ BD学部生回答不要 ⇒問5へ

2. 学習支援センターをどのように知りましたか。

- ☐ オリエンテーションでの紹介 ☐ 先生から勧められて ☐ 友達から勧められて
☐ 親から勧められて ☐ センターの前を通りかかって ☐ M-Port、大学ホームページから
☐ 授業での利用から ☐ その他

3. 学習支援センターを利用した目的は何ですか。（複数回答可）

- ☐ 学習の相談 ☐ ワークショップ参加 ☐ 演習（ゼミ）や授業による利用
☐ 個人学習・勉強会 ☐ M-Port の確認 ☐ 資料の印刷・コピー
☐ 履修登録 ☐ 休憩 ☐ その他

4. 学習支援センターを利用しなかった理由は。（複数回答可）

- ☐ 大学に通学する機会がなかったから ☐ 教員や他のセンター等が対応してくれたから
☐ 学習面で何も困っていないから ☐ 学習・勉強に関心がないから
☐ 場所・利用方法が分からないから ☐ 入りにくい雰囲気だから
☐ 利用する時間がないから ☐ その他

5. 授業以外で学習をするとき、どのような場所を利用していますか。（複数回答可）

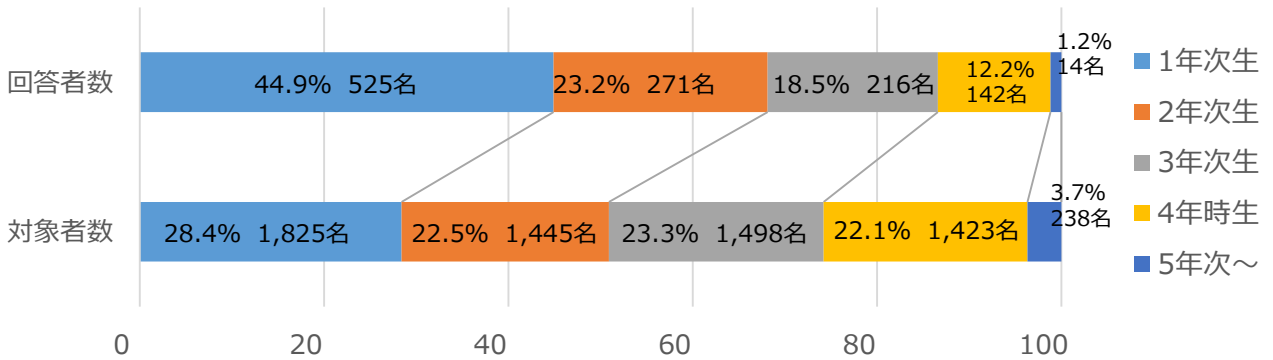
- ☐ 学内 ☐ 自宅 ☐ 公共の施設（市の図書館など）
☐ ショッピングモール、カフェ、レストランなど ☐ その他

6. 学習のために、一番利用している端末は。

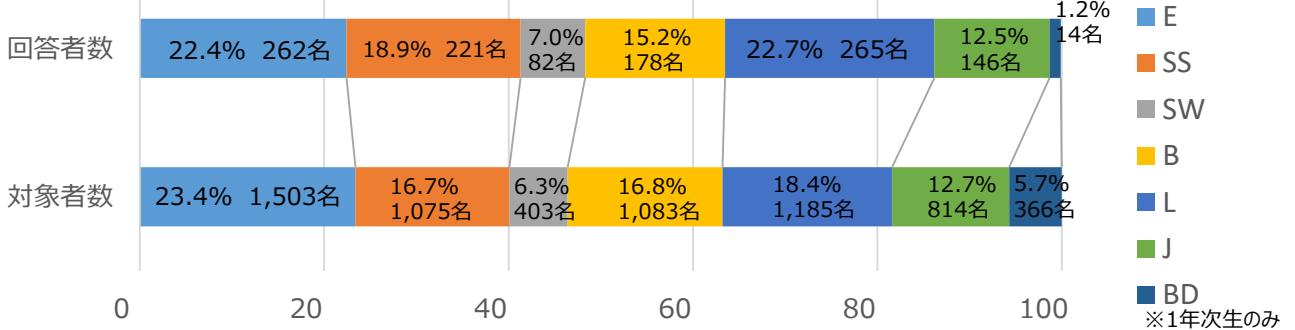
- ☐ デスクトップPC（Windows OS） ☐ デスクトップPC（Mac OS）
☐ ノートPC（Windows OS） ☐ ノートPC（Mac OS）
☐ タブレット（Android） ☐ タブレット（iOS）※iPad
☐ スマートフォン（Android／iOS）

回答者について

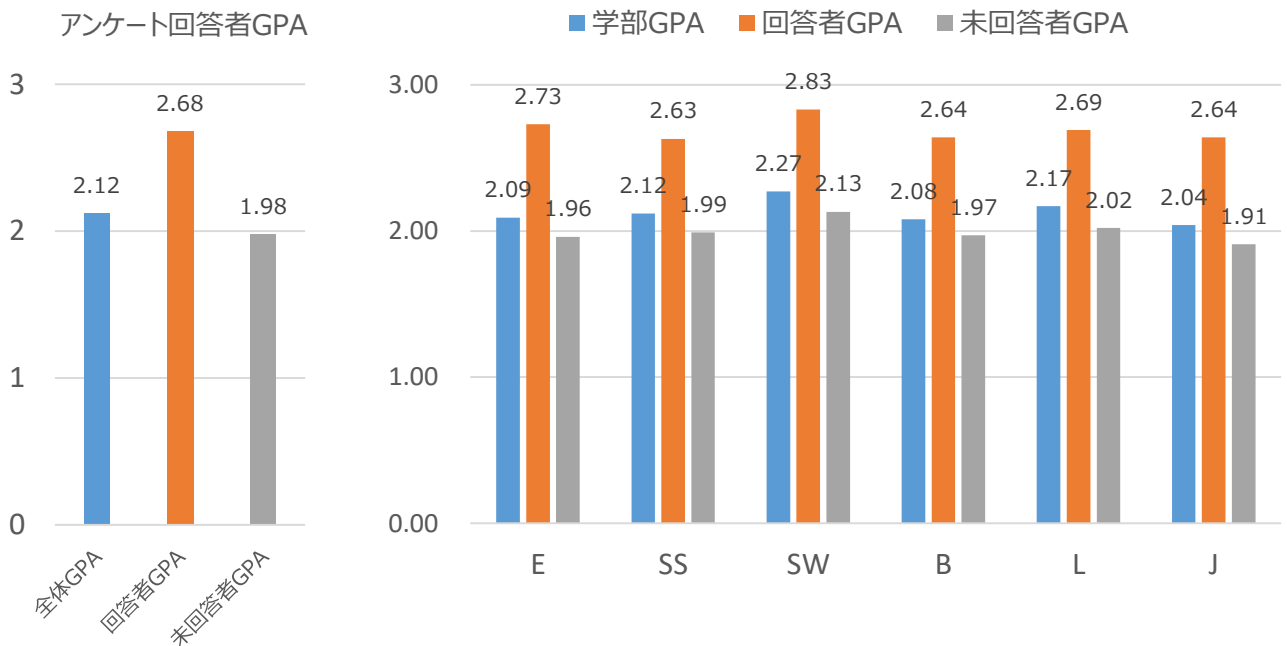
▶ 回答者数（学年別） 対象者数：6,429名 回答者数：1,168名



▶ 回答者数（学部別）



▶ 回答者とGPAの相関 ※対象1,154名／6,038名（BD生を除く）



回答者について

※アンケート対象者の学年の表記について

- 1年次生：21生
- 2年次生：20生
- 3年次生：19生
- 4年次生：18生
- 5年次～：既卒生（9月卒業）または17生以上

▶ 【回答者数、回答率】

- アンケート実施日： 2021年6月29日（火）～9月21日（火）
- 実施方法：「M-Port」アンケート機能を利用
- 対象者： 全学部生6,429名
- 回答者数・回答率： 1,168名 18.2%（前回2016年度16.7%）

▶ 【回答者数】※学年

- 1年次生回答者数： 525名 44.9% ※対象者数1,825名に対し28.8%
- 2年次生回答者数： 271名 23.2% ※対象者数1,445名に対し18.8%
- 3年次生回答者数： 216名 18.5% ※対象者数1,498名に対し14.4%
- 4年次生回答者数： 142名 23.2% ※対象者数1,423名に対し10.0%
- 4年次生回答者数： 14名 1.2% ※対象者数238名に対し5.9%

▶ 【回答者数】※学部

- E 回答者数： 262名 22.4% ※対象者数1,503名に対し17.4%
- SS回答者数： 221名 18.9% ※対象者数1,075名に対し20.6%
- SW回答者数： 82名 7.0% ※対象者数403名に対し16.7 %
- B 回答者数： 178名 15.2% ※対象者数1,083名に対し16.4%
- L 回答者数： 265名 22.7% ※対象者数1,185名に対し22.4%
- J 回答者数： 146名 12.5% ※対象者数1,185名に対し17.9%
- BD回答者数： 14名 1.2% ※対象者数366名に対し3.8%

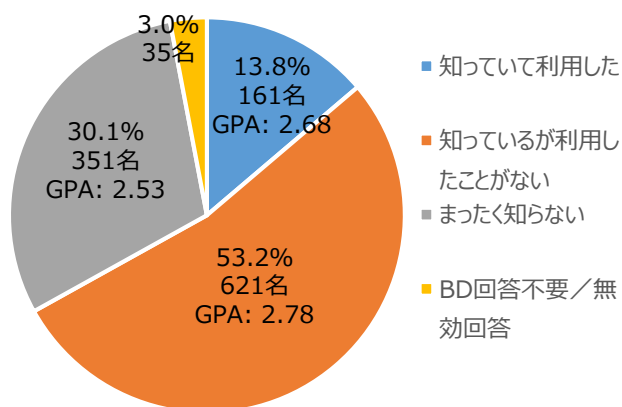
▶ 【回答者とGPA】※全学・学部

- アンケート回答者GPA： 2.68 （前回2016年度 2.25）
- アンケート対象者GPA： 2.12 （前回2016年度 1.81）
- アンケート未回答者GPA： 1.98 （前回2016年度 1.73）

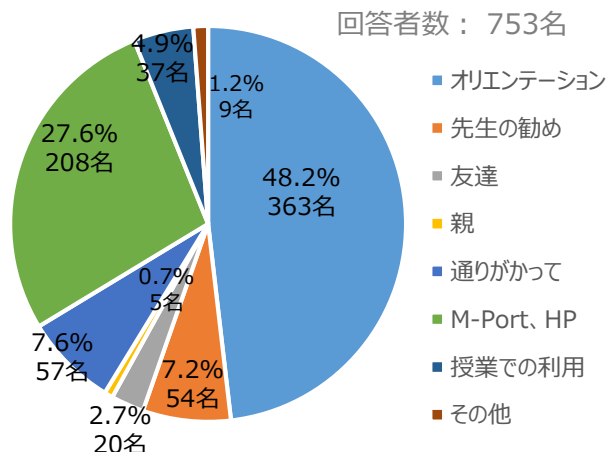
学習支援センターの認知度と利用について

認知と利用について 回答者数：1,168名

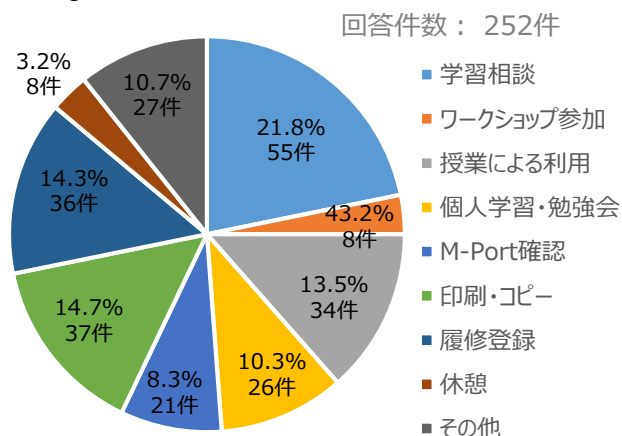
▶ Q1. 学習支援センターの認知度



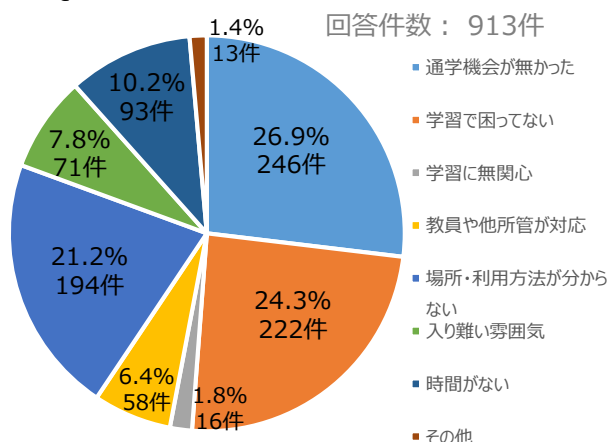
▶ Q2. どのように学習支援センターを知ったか



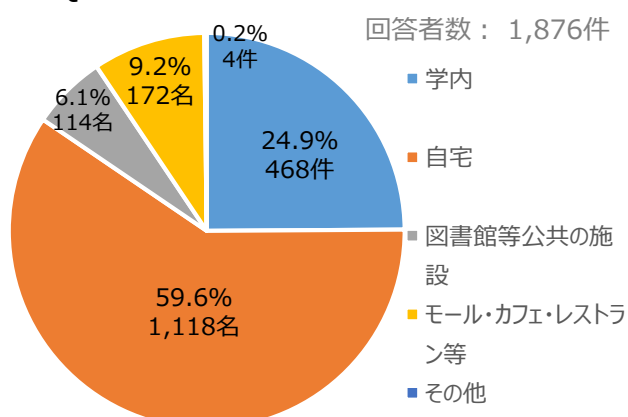
▶ Q3. 学習支援センターの利用目的



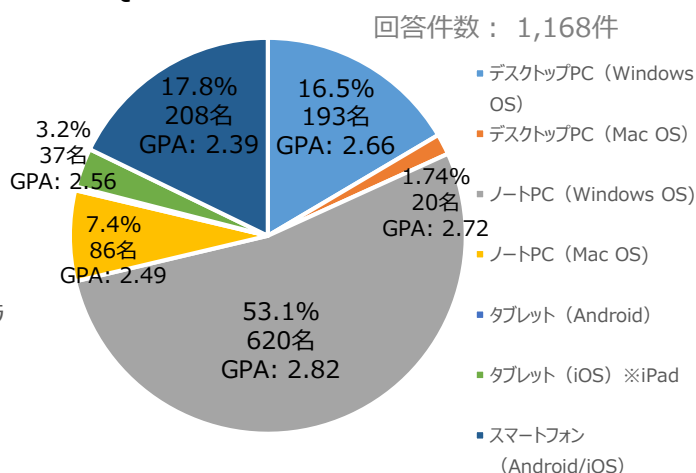
▶ Q4. センターを利用しない理由



▶ Q5. 授業以外の学習環境（学習場所）



▶ Q6. 学習のための利用端末



学習支援センターの利用と学習環境

学習支援センターの認知度と利用、学習環境について

- ▶ Q1 & Q2 【学習支援センターの認知および利用】
 - 学習支援センターの認知：回答者の67%が認知 （前回2016年度86.8%）
 - 利用経験あり： 回答者1,168名中161名 13.8% （前回2016年度1,042中359名 34.5%）

- ▶ Q1 & Q2 【学習支援センターの認知とGPAの相関】
 - 知っていて利用した学生のGPA： 2.68 2.38（前回2016年度）
 - 知っているが利用していない学生のGPA： 2.78 2.22（前回2016年度）
 - 全く知らない学生のGPA： 2.53 2.06（前回2016年度）

- ▶ Q3 & Q4 【学習支援センターの利用目的】
 - 学習支援センターの利用目的は、多岐にわたる。（学習相談、授業による利用、機器の利用等）
 - 履修登録期間中は、1年次生を対象に履修相談を行っていたことから、履修登録での利用も多かった。

- ▶ Q5 【授業以外の学習環境（学習場所）】
 - コロナ下において、多くの学生が自宅を中心に学習に取り組んでいた。 ※59.6%
 - 少なくない学生が、ショッピングモールやカフェ、レストラン等を利用して学習している。 ※9.2%

- ▶ Q6 【学習のための利用端末】
 - 利用端末については、Windows OSノートPCが最も多く、その利用者のGPAも高い。 ※GPA 2.82
 - Mac OSノートやスマートフォン等の端末を利用する学生のGPAは低い傾向にある。 ※GPA 2.39～2.56
 - スマートフォンをメインで利用する学生のGPAは最も低く（2.39）、資料や教材の確認、課題の提出を十分にできていない可能性がある。
 - 学習支援センターにおいても、Mac OSに関する質問が多々あった。教材とミスマッチしている可能性あり。

学習状況に関するアンケート

【学習時間、学習状況に関する質問】

- Q7. あなたは、授業以外の時間で、1週間にどれくらい学習に時間を費やしていますか。（択一選択）
※課題やレポートなど授業に関連する学習、授業に直接関連しない資格や就職活動等に関連する全ての学習時間
☐ 0時間 ☐ 1～2時間 ☐ 3～5時間 ☐ 6～10時間 ☐ 11時間以上
- Q8. 各履修科目の予習・復習のために、定期的にどれくらい時間を費やしていますか。（択一選択）
☐ ほぼ毎日 ☐ 1週間に数回 ☐ 月に数回 ☐ 課題・レポート提出前 ☐ ほとんどしない
- Q9. 春学期に履修していた科目で、日々の予習・復習を必要とする（しなければ授業についていけない）科目数は。（回答例：○科目中○科目 or ○／○）
- Q10. 授業で分らないことがあった場合、どのように解決していますか。（複数選択可）
☐ 直接先生に聞く ☐ クラスメート、友達に聞く ☐ 学習支援センターへ相談に行く
☐ 家族に聞く ☐ 特に何もしない ☐ その他

あなたは次の問11から問24までのような学習スキルが、大学入学時にどの程度身についていたと思いますか。
またこれまでの大学での学習を通して、その力がついたと思いますか。『入学時』『入学後』それぞれにあてはまる回答を1つ選び、印をつけて下さい。

- Q11. 学習に目的を見出し、学習へのモチベーションを自分自身で高めていく力
Q12. 効率的・効果的に学習する力
Q13. 時間を管理し、計画的に学習を進める力
Q14. 授業の重要なポイントをノートにまとめる力
Q15. 文献や資料から重要なポイントや問題点を読み取り、まとめる力
Q16. 定められた形式に従ってレポートを書く力
Q17. 情報検索の方法や参考文献・引用のルールを理解し、正しい方法で活用する力
Q18. レジューメやプレゼンテーション資料を作成する力
Q19. データ（数値）やグラフ等の意味を理解し、活用する力
Q20. 批判的に物事を捉え、自身の考えを論理的に主張する力
Q21. グループでディスカッションをしたり、チームとして意見をまとめる力
Q22. 対面・遠隔授業においてICT危機やソフトウェア、アプリケーションを使いこなす力
Q23. 英語（外国語）を理解し、活用する力

【入学時】

- ☐ 身についていた ☐ やや身についていた ☐ あまり身につけていなかった ☐ 身につけていなかった

【入学後】

- ☐ 身についた ☐ やや身についた ☐ あまり身につかなかった ☐ 身につかなかった

授業に臨む際、次の問24から29に対してどのように取り組んでいますか。あてはまる回答 1 つに印をつけて下さい。

- Q24. 教員が黒板に書かなかったことでもノートを取る
Q25. 授業内容について教員に質問する
Q26. 授業の予習や復習をする
Q27. 授業に遅刻や欠席をする
Q28. 授業で出された課題を提出する
Q29. 授業より他の活動を優先する

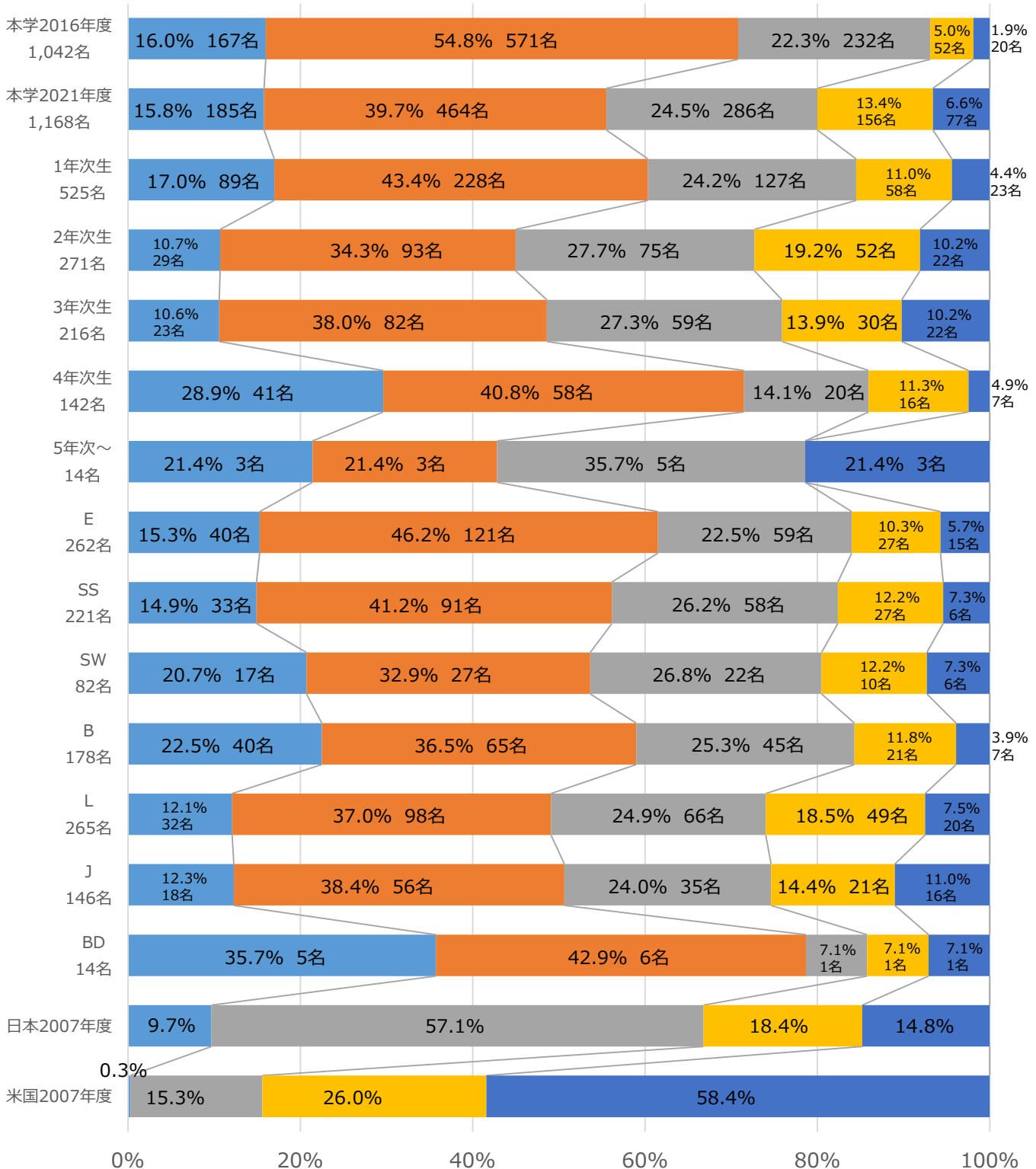
- ☐ よくする ☐ たまにする ☐ あまりしない ☐ 全くしない

本学学生の学習時間数

▶ Q7. 本学学生の1週間の学習時間

■ 0～1時間末 ■ 1～3時間末 ■ 1～5時間 ■ 5～10時間末 ■ 10時間以上

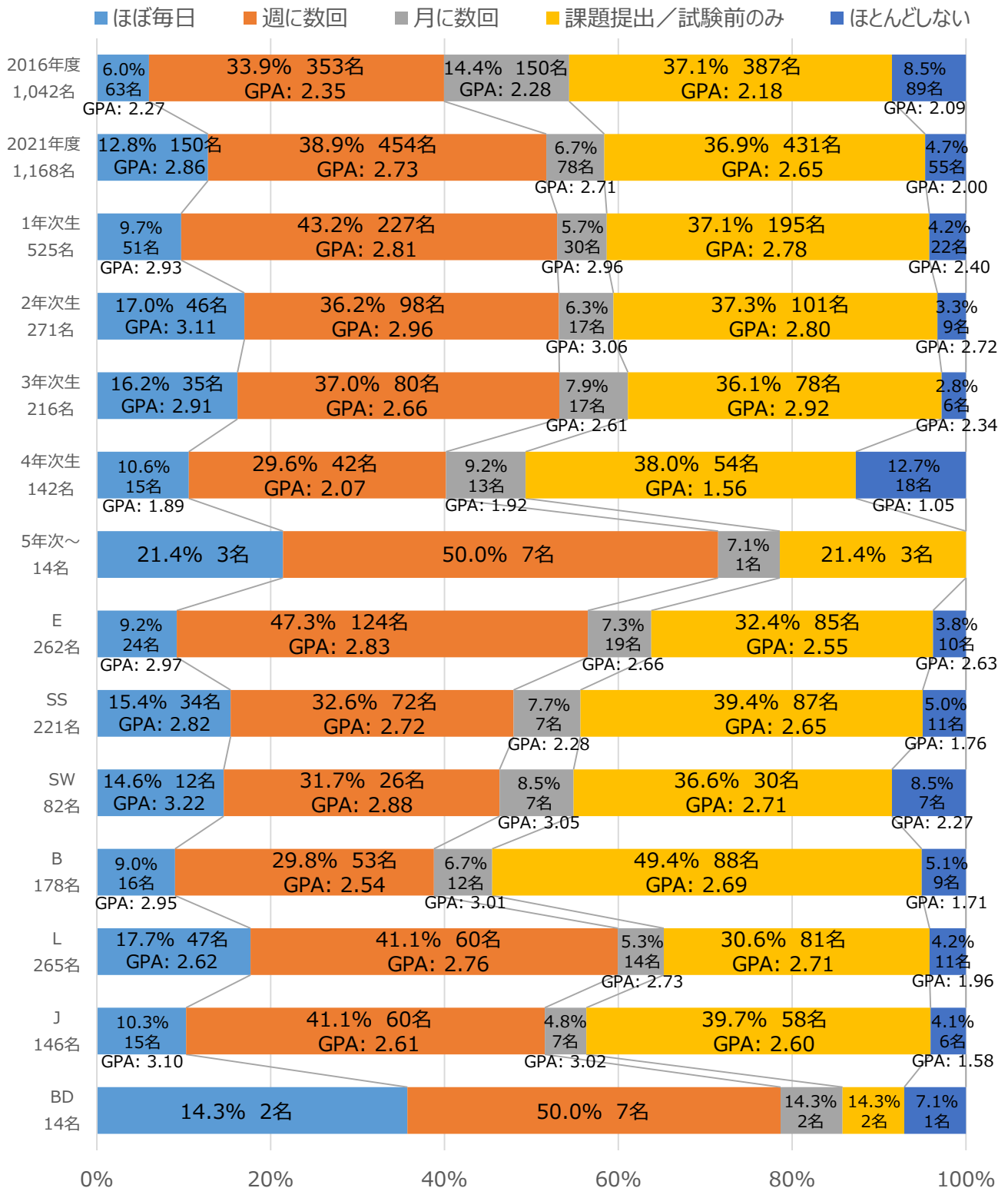
本学学生（3～5時間末）



中央教育審議会・平成24年8月28日答申資料を参考に作成
 出典：東京大学大学経営政策研究センター『全国大学生調査』2007年
 NSSE (The National Survey of Student Engagement)

定期的学習（予習・復習）の実態

▶ Q8. 履修科目のための学習（予習・復習）の頻度 回答者数：1,168名



本学学生の学習時間数

▶ Q7. 学習時間数とGPAの相関（学年別）

	全体	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生
0～1時間未満	2.31	2.60	2.74	2.65	1.31
1～3時間未満	2.61	2.76	2.74	2.62	1.83
3～5時間未満	2.85	2.88	3.04	2.92	1.94
5～10時間未満	2.92	2.98	3.07	2.98	2.13
10時間以上	2.88	3.00	3.22	2.89	1.82

▶ Q7. 学習時間数とGPAの相関（学部別）

	E	SS	SW	B	L	J
0～1時間未満	2.32	2.02	2.74	2.22	2.39	2.50
1～3時間未満	2.69	2.52	2.57	2.63	2.66	2.49
3～5時間未満	2.91	2.86	3.13	2.78	2.74	2.85
5～10時間未満	3.00	3.02	3.12	3.11	2.77	2.79
10時間以上	3.00	3.09	2.68	2.95	2.89	2.63

▶ Q8. 学習頻度とGPAの相関（学年別）

	全体	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生
ほぼ毎日	2.86	2.93	3.11	2.91	1.89
週に数回	2.73	2.81	2.96	2.66	2.07
月に数回	2.71	2.96	3.06	2.61	1.92
課題提出時のみ	2.65	2.78	2.80	2.92	1.56
ほとんどしない	2.00	2.40	2.72	2.34	1.05

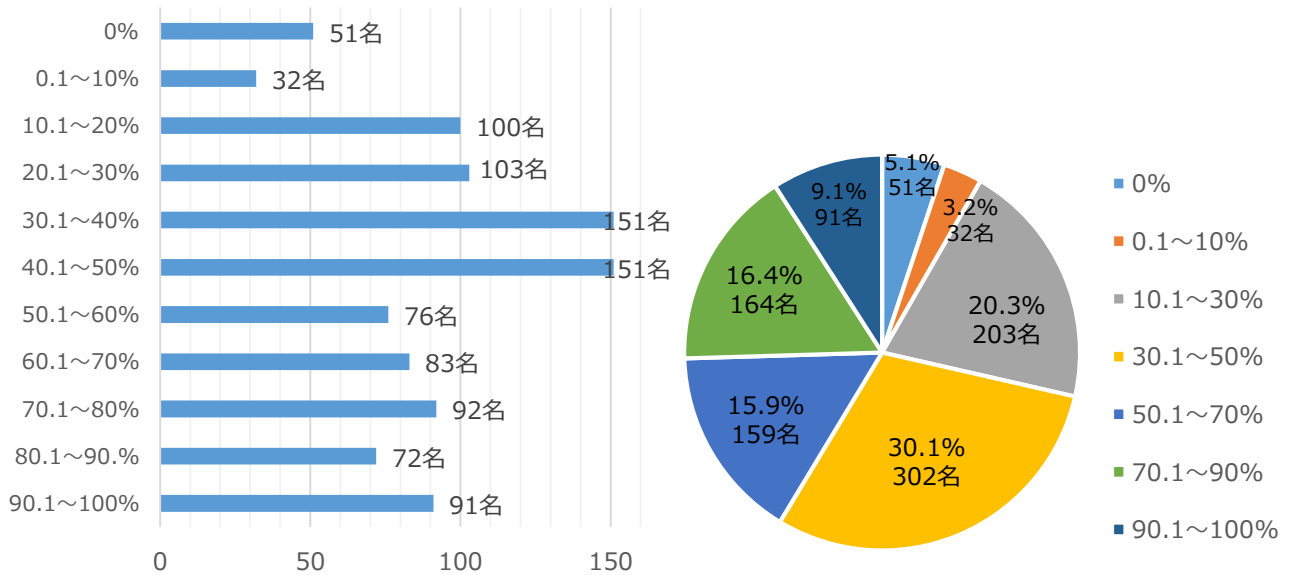
▶ Q8. 学習頻度とGPAの相関（学部別）

	E	SS	SW	B	L	J
ほぼ毎日	2.97	2.82	3.22	2.95	2.62	3.10
週に数回	2.83	2.72	2.88	2.54	2.76	2.61
月に数回	2.66	2.28	3.05	3.01	2.73	3.02
課題提出時のみ	2.55	2.65	2.71	2.69	2.71	2.60
ほとんどしない	2.63	1.76	2.27	1.71	1.96	1.58

予習・復習を必要とする科目の割合

▶ Q9. 履修中の科目で、日々の学習（予習・復習）を必要とする科目の割合

有効回答者数：1,002名



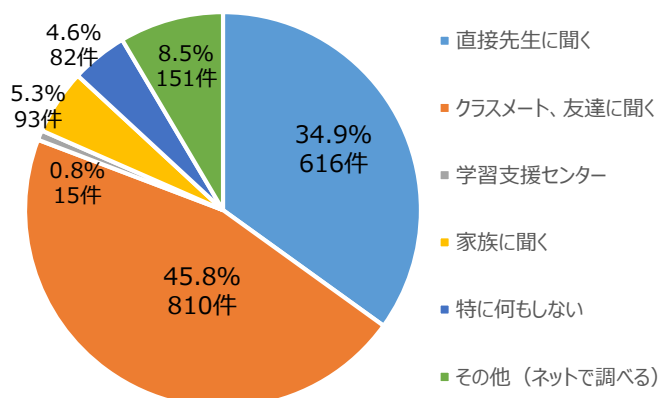
▶ 全学／学年別

	全学	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生	5年次～
平均履修科目数	11.4	12.7	12.5	10.9	4.6	8.8
学習必要科目数	5.4	5.8	6.1	5.5	2.3	4.1
割合 (%)	47.4%	45.7%	48.8%	50.5%	50.0%	46.6%

▶ 学部別

	E	SS	SW	B	L	J	BD
平均履修科目数	11.2	11.0	12.1	11.3	12.4	10.3	8.4
学習必要科目数	5.4	4.9	5.7	5.2	5.8	5.2	6.1
割合 (%)	48.2%	44.5%	47.1%	46.0%	46.8%	50.5%	72.6%

▶ Q10. 授業・学習の問題解決方法 ※回答件数：1,767件



本学の学生の学習状況

▶ Q7【1週間の学習時間とGPA】※全学

- 2021年度 1時間未：15.8%、3時間未：39.7%、5時間未：24.5%、10時間未：13.4%
- 2016年度 1時間未：16.0%、3時間未：54.8%、5時間未：22.3%、10時間未：5.0%
- 2021年度10時間以上：6.6% 2016年度10時間以上：1.9% 日本：14.8% 米国：58.4%
- GPA：1時間未：2.31 3時間未：2.61 5時間未：2.85 10時間未：2.92 10時間以上：2.88

▶ Q7【1週間の学習時間とGPA】※学年別／学部別

- 2年次生および3年次生の学習時間数は多い傾向にある。
- 国際教養学部生、法学部生の学習時間数は多い傾向にある。
- 社会福祉学科生の学習時間が大きく改善された。※2016年度3時間以上：22.3%→46.3%
- ビジネスデザイン学部生の学習時間数が少ない傾向にある。※母数が少ないため、要再調査

▶ Q8【学習頻度とGPA】※全学

- 2021年度 ほぼ毎日：12.8%、週に数回：38.9%、月に数回：6.7%、課題提出時：36.9%
- 2016年度 ほぼ毎日：6.0%、週に数回：33.9%、月に数回：14.4%、課題提出時：37.1%
- GPA：ほぼ毎日：2.86、週に数回：2.73、月に数回：2.71、課題提出時：2.65、しない：2.00

▶ Q8【学習頻度とGPA】※学年別／学部別

- 2年次生および3年次生は、ほぼ毎日学習する割合が高い。
- 国際教養学部生の学習頻度は他学部に比べ高い。
- 経済学部生およびビジネスデザイン学部生は、学習時間数は少ないながらも、学習頻度は高い。
- 社会福祉学科生および法学部生の、ほぼ毎日学習する学生の成績は、非常に良い。
- 月に数回しか学習しない学生も、学部によっては非常に良い成績を取る傾向にある。(SW、B、J)

▶ Q9【予習・復習を必要とする科目の割合】※全学

- 平均履修科目数：11.4科目
- 学習必要科目数：5.4科目 47.4%

▶ Q9【予習・復習を必要とする科目の割合】※学年、学部別

- 3年次生の予復習を必要とする科目の割合は、他の年次に比べ高い。
- 国際教養学部が、語学科目（1単位科目）が多いため、履修科目数も多くなる。
- 経済学部生、法学部生、ビジネスデザイン学部生は、予復習を必要とする科目の割合が高い。
- 経済学部生およびビジネスデザイン学部生は予復習を必要とする科目が多いため、学習頻度も高くなる。
- 経済学部生およびビジネスデザイン学部生は、予復習を必要とする科目が多く、学習頻度も高いが、学習時間数は少ない。ただし、※ビジネスデザイン学部は母数が少ないため、要再調査

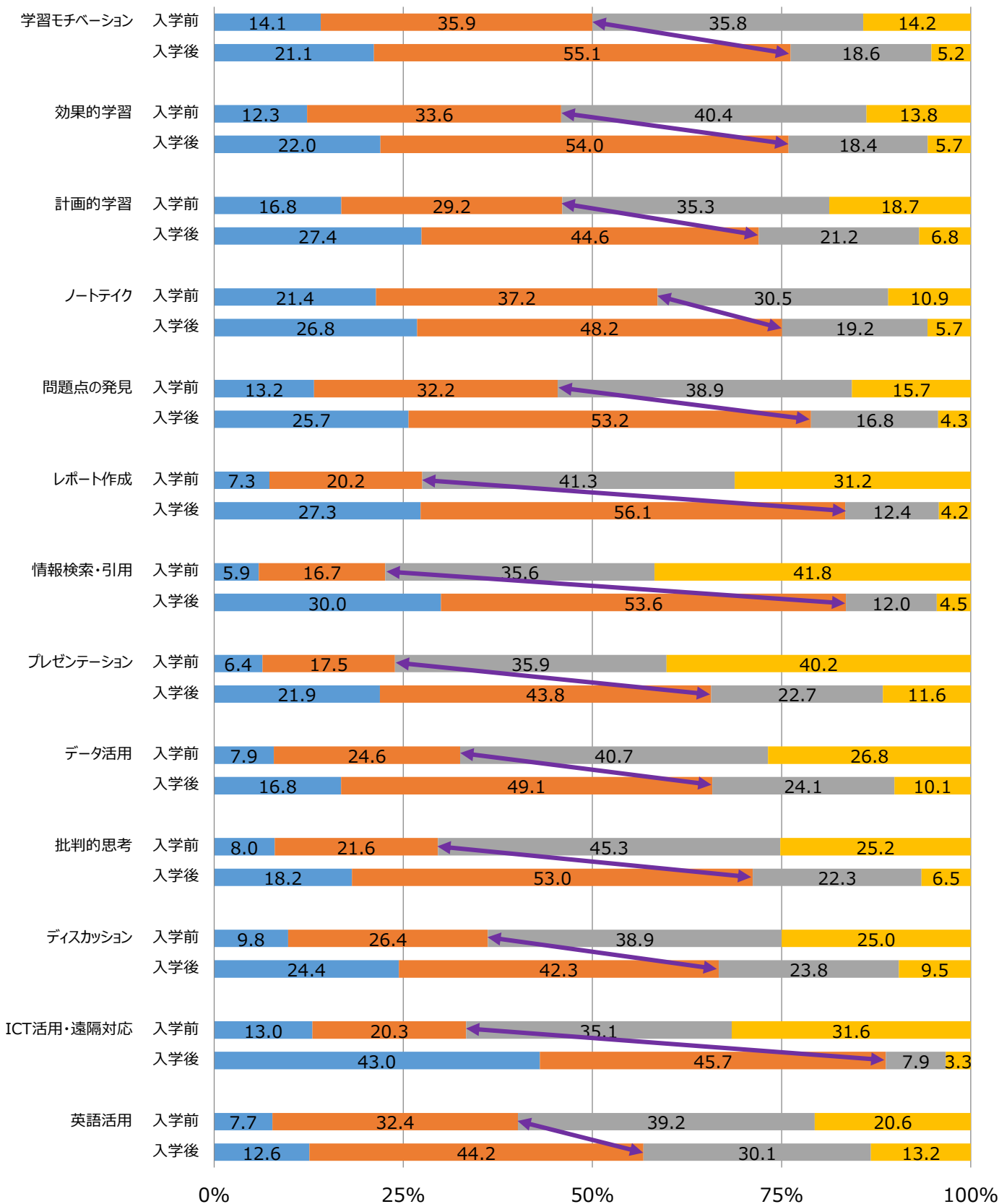
▶ Q10【授業や学習で分からないことの解決方法】

- 勉学で分からないことの解決方法として最も多いのは、クラスメイト・友人に聞く。
- 直接教員に聞くという回答が、2016年度アンケート結果に比べ、向上している。※31.1%→34.9%
- クラスメイト・友人に聞く、学習支援センターを利用するが、2016年度に比べ数値が低下。
- その他（主にインターネットで調べる）が、2016年度に比べ向上。

学習スキルの習得（入学前と入学後の比較）

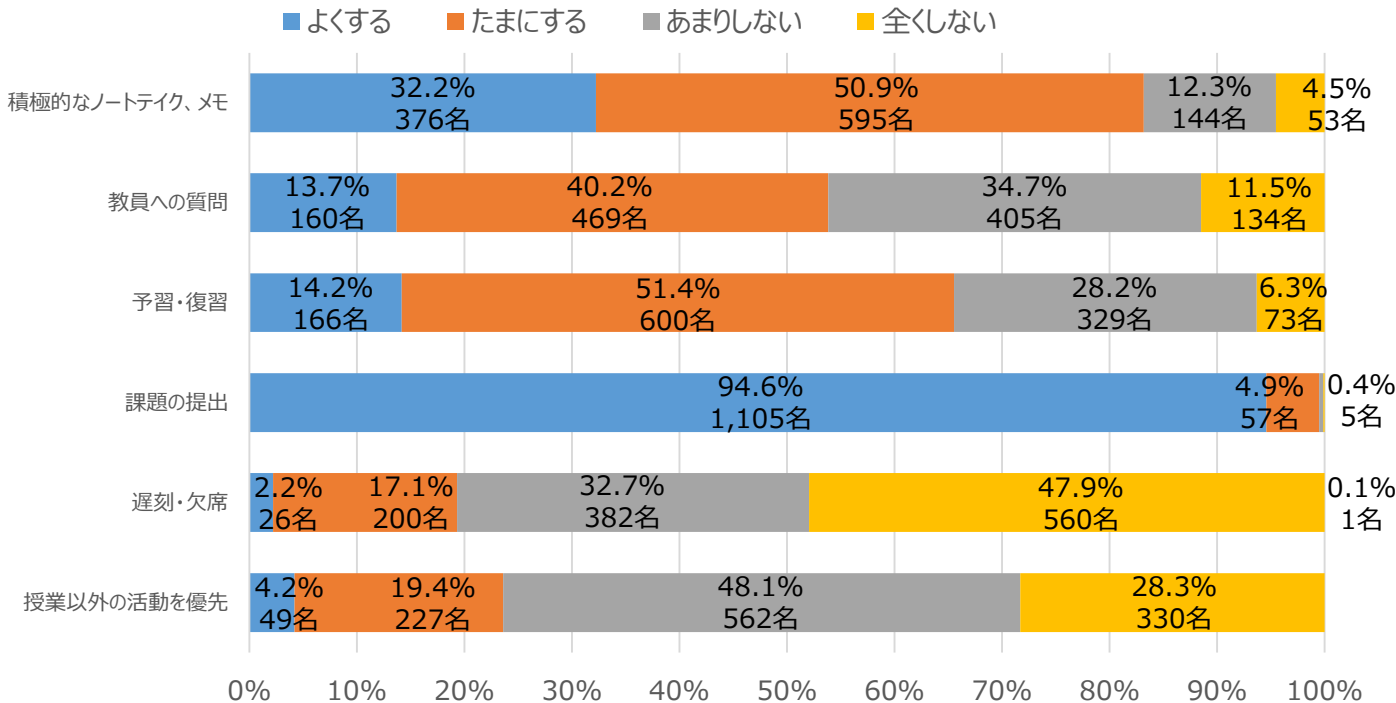
▶ Q11～Q23 入学前・入学後の学習スキルの習得

■（前）身についていた… ■（前）やや身についていた… ■（前）あまり身につけていなかった… ■（前）身につけていなかった…



授業への取り組み

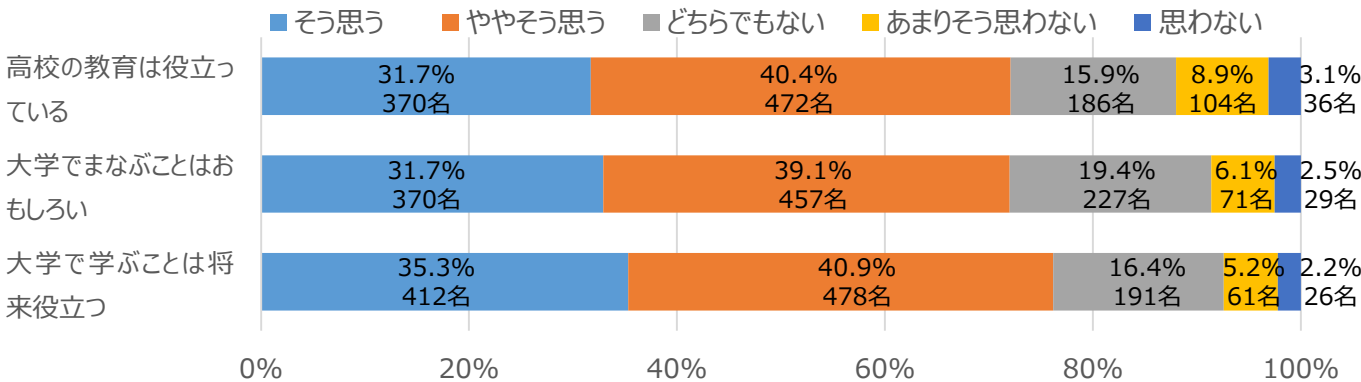
▶ Q24～Q29 授業に対する姿勢 回答者数：1,168名（平均GPA 2.68）



▶ 授業に対する姿勢とGPAの相関

	よくする	たまにする	あまりしない	全くしない	GPA 上下差
積極的なノートテイク、メモ	2.75	2.68	2.65	2.30	0.45
教員への質問	2.69	2.73	2.68	2.54	0.19
予習・復習	2.81	2.72	2.67	2.13	0.68
課題の提出	2.73	1.86	1.15	0.13	0.87～2.60
遅刻・欠席	1.69	2.23	2.66	2.90	1.21
授業以外の活動の優先	2.12	2.43	2.73	2.87	0.75

▶ Q30～Q32 大学の教育についての感想 回答者数：1,168名



学習スキルと授業に対する姿勢

- ▶ Q11～Q23 【入学前・入学後の学習スキルの習得】 ※全学
 - 入学後に習得したスキル ※75%以上の学生が身につけられたと判断したスキル
 - ・ 学習モチベーション
 - ・ 効果的学習
 - ・ ノートテイク
 - ・ 問題点の発見
 - ・ レポート作成
 - ・ 情報検索・引用
 - ・ ICT活用・遠隔対応
 - 入学後に習得したスキル ※75%を割ったスキル
 - ・ 計画的学習
 - ・ プレゼンテーション
 - ・ データ活用
 - ・ 批判的思考
 - ・ ディスカッション
 - ・ 英語活用
- ▶ Q24～Q29 【授業に対する姿勢とGPA】 ※全学
 - 課題の提出については、95%弱の学生がしっかりと取り組んでいる。
 - 授業に対する姿勢と成績評価・GPAは比例する。
 - 授業に対する姿勢については、2016年度の調査と比較すると、全分野において改善されている。
 - ・ 積極的なノートテイク 28.4%→32.2% （よくする）
 - ・ 教員への質問 9.6%→13.7% （よくする）
 - ・ 予習・復習 12.0%→14.2% （よくする）
 - ・ 課題の提出 82.8%→94.6% （よくする）
 - ・ 遅刻欠席 28.9%→47.9% （全くしない）
 - ・ 授業以外の活動を優先 21.8%→28.3% （全くしない）

大学の教育に関するアンケート

【大学の教育について学生が考えていること】

あなたは、大学で学ぶことについて、また、桃山学院大学の教育についてどのように考えますか。
問30から問32に対して、あてはまる回答に印をつけて下さい。

Q30. 高校までの教育は、大学での学びに役立っている

Q31. 大学で学ぶことはおもしろい

Q32. 大学で学ぶことは将来役に立つ

- ☐ そう思う ☐ ややそう思う ☐ どちらでもない ☐ あまりそう思わない ☐ 思わない

Q33. 本学に副専攻の制度（所属する学部・学科以外の教育で、興味関心のある学問分野を学ぶ制度）がある場合、どの分野（学部）を副専攻にしたいですか（興味がありますか）。

- | | |
|----------------------------------|--|
| ☐ 経済学部 | ☐ 社会学部社会学科 |
| ☐ 社会学部社会福祉学科 | ☐ 経営学部 |
| ☐ 法学部 | ☐ 国際教養学部 |
| ☐ ビジネスデザイン学部 | ☐ 人間教育学部（桃山学院教育大学） |

Q34. 大学に力を入れてほしい教育、または、あなたが身につけたい力について（複数回答可）。

- ☐ 一般的な教養（様々な分野に対する知識や汎用的能力）
☐ 学部・学科の専門教育（ある分野に対する専門性）
☐ 大学で必要な基本スキル（レポートの書き方、プレゼンテーション資料作成等）
☐ AIや数理・データサイエンスの基礎的知識
☐ キャリア教育（就職等に直結する技術や知識）
☐ 体験教育（教室以外での活動や体験により得られる知識や力）
☐ 語学教育（外国語に対する基礎的知識とコミュニケーション力）
☐ その他（具体的に記述）

Q35. 本学や各学部のカリキュラムは、卒業するために、様々な技能や知識を向上させるために、どの科目をどのような順番で履修していけば良いか、分かりやすいものになっていますか。

- ☐ よく分かる
☐ 分かる
☐ なんとなく分かる
☐ 分からない
☐ 全く分からない

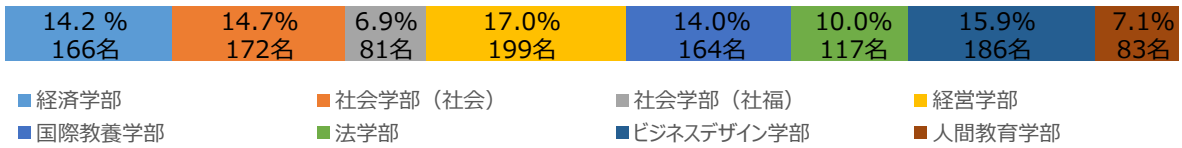
Q36. あなたは、本学の教育・授業内容にどれくらい満足していますか。

- ☐ とても満足
☐ 満足
☐ 普通
☐ 不満
☐ とても不満

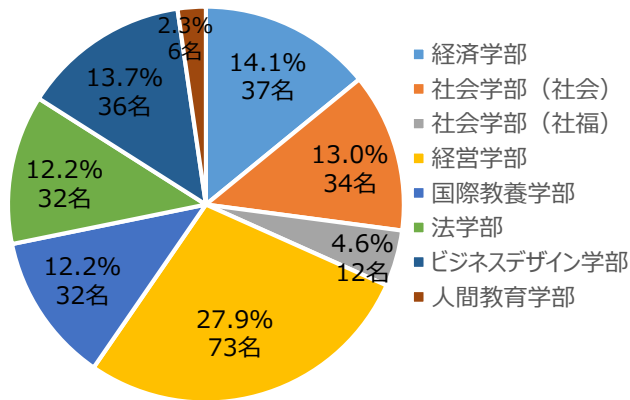
本学の教育について

▶ Q33 副専攻として学びたい学問領域（学部・学科）

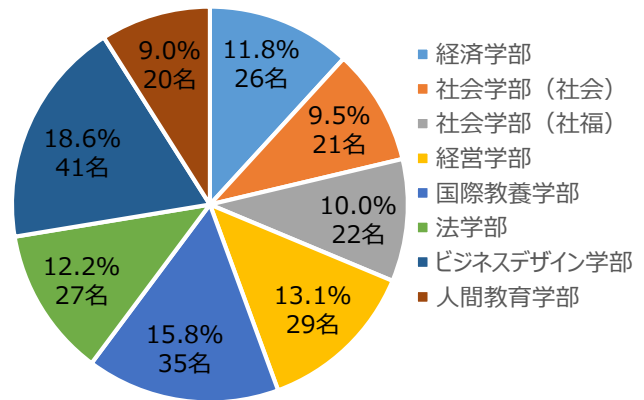
希望選考（全体） 回答者数：1,168名



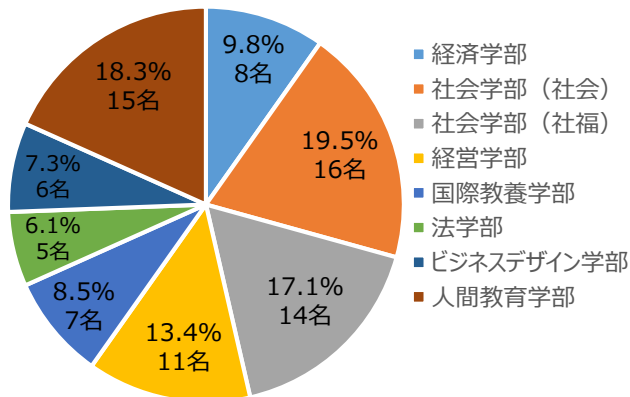
▶ 経済学部生の希望副専攻 262名



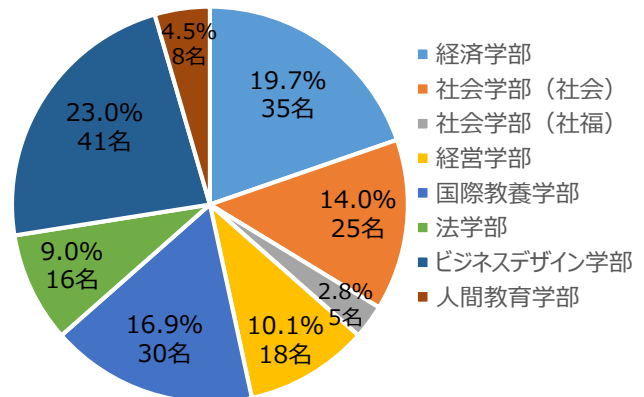
▶ 社会学部生の希望副専攻 221名



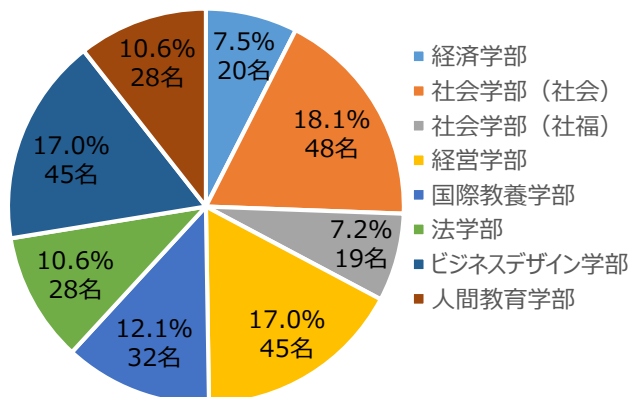
▶ 社会福祉学科生の希望副専攻 82名



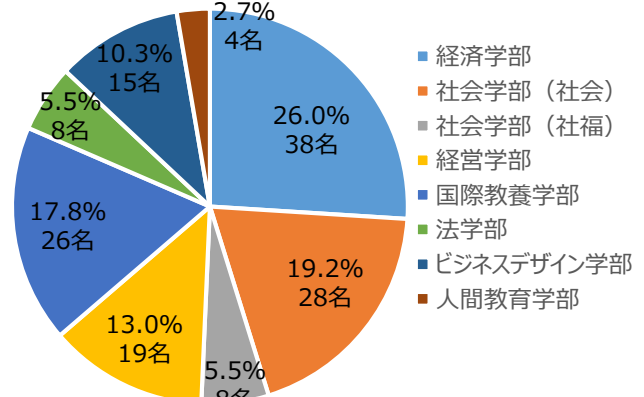
▶ 経営学部生の希望副専攻 178名



▶ 国際教養学部生の希望副専攻 265名

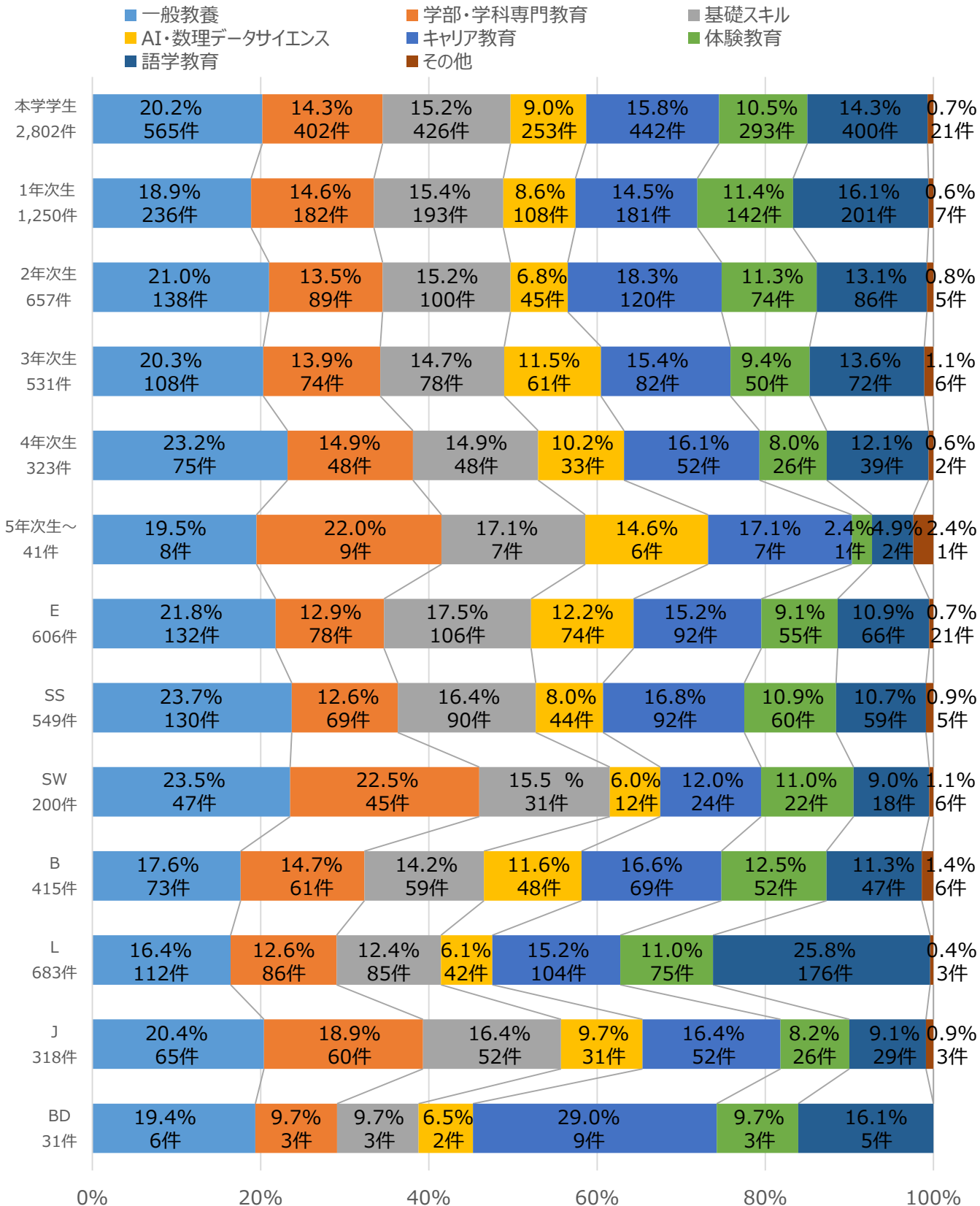


▶ 法学部生の希望副専攻 146名



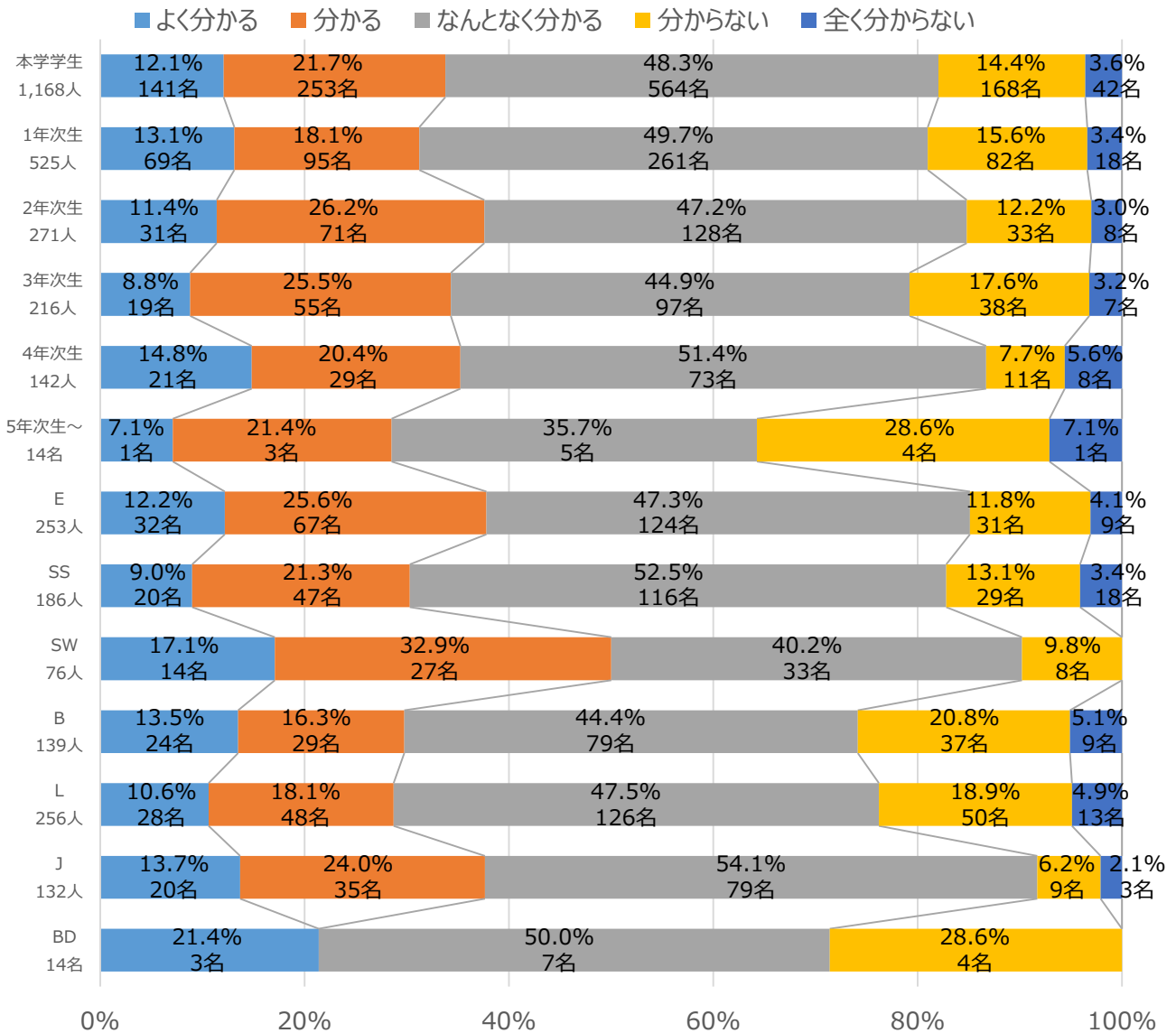
本学の教育について

▶ Q34 大学に力を入れてほしい教育、身につけたい力について 回答件数：2,802件（複数回答）

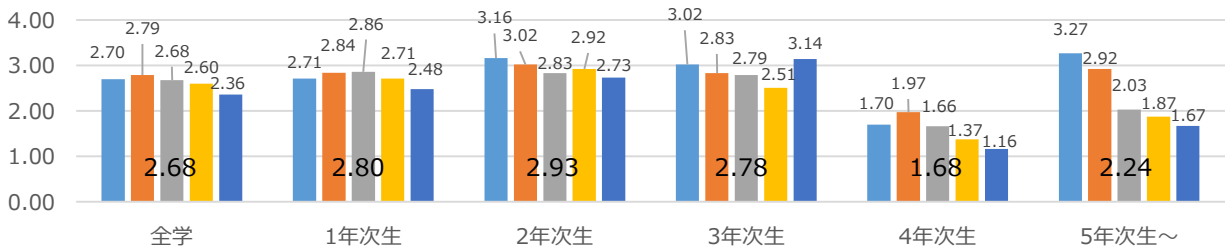


本学の教育について

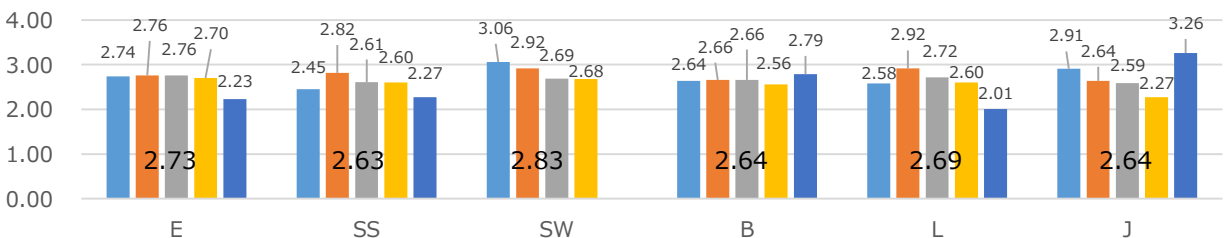
▶ Q35 カリキュラムについての理解



▶ Q35 カリキュラムについての理解とGPAの相関（全学／学年）※BD対象外

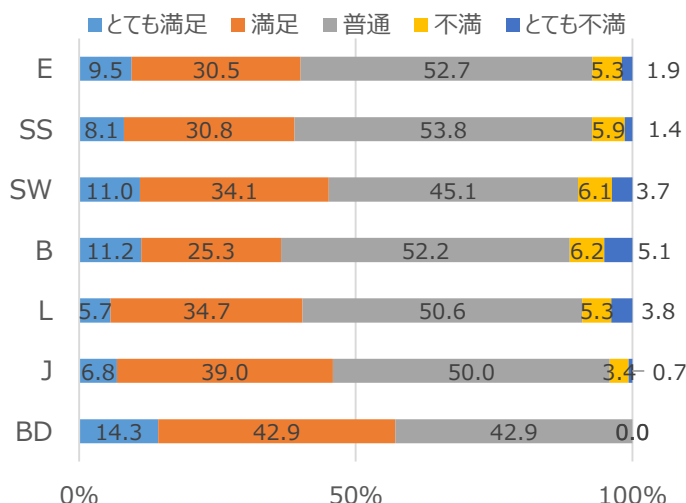
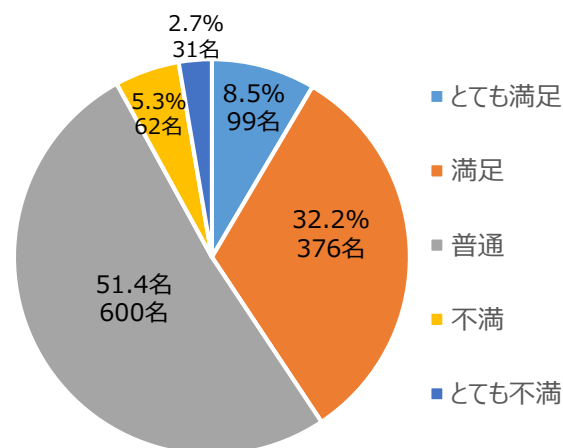


▶ Q35 カリキュラムについての理解とGPAの相関（学部・学科）※BD対象外



本学の教育への満足度、学生の声

▶ Q36 本学の教育・授業内容への満足度



学生の声（抜粋）

【本学の教育に満足と答えている学生の声】

- オンライン授業での授業も、分かりやすく、生徒にとって学びやすい環境を作っているから。
- 自分の頑張りしだいでは大きく将来に役立つからです。
- 語学に興味があるので授業のときにいつも楽しいので満足だ。
- 自分の成長を少しずつ感じているから。
- 対面の授業もオンライン授業も問題なく過ごすことができたから。
- 様々な分野について広く学べるから。
- 先生の説明が分かりやすい。大学図書館や自習スペースが充実している。
- 大学での学びは、自分の将来を決める上でも非常に役に立ち、それが就職活動でも活かされたと思っています。
- 高校とは違う年の離れた学年ともグループワークをすることがあってそれが面白いと思った。
- コロナに対する対応はとても早かったので安心した。
- 専門的な科目について、論文などを引用しつつ体系的に知識をつけられる講義が多いから。
- 高校の時よりも自分の好きなことを学べているから。
- 授業中の内容で個人的に分らなかった事を説明してくれる先生が多いから。
- 初めて知ることなどがたくさんあるから。
- 面白いと思いながら受けられたり、新たな学びがあったりするため。遠隔授業なのでもじっくり聞けるのも満足につながっていると思う。
- 質問をすると、丁寧に返してくれる先生が多いので、分からない事の質問がしやすいです。
- IT基礎やレポート入門は、将来大きな力になると考えているから。
- 他の大学は通わなければならないところをオンラインと同時進行で進めてくれているから
- 概ね授業は工夫されていて、内容が分かりやすく説明されているから。今まで関心がなかったことにも興味が持てたから。

【普通と答えている学生の声】

- 授業の評価が甘いものが多く、ほとんど勉強せずとも単位認定される授業が多いため大学で身につけるはずの知識が身に付いていない気がする。
- 理解しやすい授業もあればよくわからない講義もあるから。
- どの学校でも言えることだが、時間割の都合上取っている授業も多く、興味のない分野でも、時間を使って、学ばなければならないことがあるため。
- コロナになってから、やはり授業の質が落ちてしまった。1年生の頃は、身体が疲れていても、当然授業に集中して講義に参加していたが、最近はあまりそういう気分にならない。（右上につづく）

【普通と答えている学生の声】

- 単位取得が難しい、課題提出をしてもほとんど点数開示がないため不安になる。
- 実際にあまり対面で講義を受けたことがないため、実際の本学の教育や授業内容をあまり知らないから。
- 現在聞くだけの授業があり、実際に問題を解いたり、みんなでグループディスカッション等をする科目が少ないため90分間集中して取り組めないから。
- 多くの授業を遠隔で受けていましたが、やはり対面で受けたいと思ったからです。なぜなら遠隔だと同時に何人も話してコミュニケーションが取りづらいことがあったからです。
- 教授側にも生徒側にもまだまだ改善できる所がある、もっと良い講義にできると思う。

【本学の教育に不満と答えている学生の声】

- 学生のレベル分けが不十分であると感じるから。
- 高校で既に学んだ内容の授業があり、あまり新しい内容がなく残念だった。また、必修の英語の授業は高校よりはるかに簡単に教材費や時間が勿体ないと感じた。
- 仕方ないことだと理解はしているが、大学生の醍醐味である学生との交流ができない今の状況に満足はできない
- 遠隔と対面の混合は学生にとってもかなりの負担である。無意味な同時双方型（質問を受け入れる雰囲気でもなく淡々と講義をされる授業）には疑問を感じる。
- 遠隔授業が多く、授業内容を理解できているように感じない。
- 専門用語ばかり使う教授がいたりして、1回生の自分にとってわかりづらい講義がある。
- 必修科目が簡単すぎる。
- 対面とオンラインでバラバラだから集中できない
- 遠隔授業で質問し辛い。
- 対面授業の場合、周りの生徒がとても騒がしく集中することができない。
- 遠隔での授業がほとんどで人と接する機会がなく大学で勉強をする意義を感じることができないためであり、課題だけをしているように感じ通信制の大学との違いが分からないためである。
- 遠隔授業については、メリットがあり満足しているが 特定科目の遠隔授業が動画を見るだけなどがあり不満に感じる。
- リモートになってから授業が分かりにくく、成績も下がった。

本学の教育への満足度、学生の声

本学の教育について

▶ Q30～Q32【大学の教育に対する感想】 ※全学

- 大学での教育を受けるにあたり、高校までの教育が役立っているとポジティブな回答が多い。
- 大学での教育に、おもしろみを感じている学生は多い。
- 大学の教育が、将来に役立つと期待している学生は多い。

▶ Q33【副専攻として学びたい学問領域（学部・学科）】

- 全学的に見ると経営学部の学びが人気（17.0%）。
- 学部別副専攻トップ3 ※自学部・学科を除く順位
 - ・ 経済学部： 1. 経営（27.9%） 2. BD（13.7%） 3. 社会（13.0%）
 - ・ 社会学科： 1. BD（18.6%） 2. 国際教養（15.8%） 3. 経営（13.1%）
 - ・ 社会福祉： 1. 社会（19.5%） 2. 人間教育（18.3%） 3. 経営（13.4%）
 - ・ 経営学部： 1. BD（23.0%） 2. 経済（19.7%） 3. 国際教養（16.9%）
 - ・ 国際教養： 1. 社会（18.1%） 2. 経営（17.0%） 2. BD（17.0%）
 - ・ 法学部： 1. 経済（26.0%） 2. 社会（19.2%） 3. 国際教養（17.8%）
 - ・ BD学部： 1. 経営（28.6%） 2. 経済、国際教養、人間教育（14.3%）※母数14名

▶ Q34【大学に力を入れて欲しい教育、自分が身につけたい力】

- 全学的に見ると一般教養が人気（20.2%）。
- 学年別トップ3
 - ・ 1年次生： 1. 一般教養（18.9%） 2. 外国語教育（16.1%） 3. 基礎スキル（15.4%）
 - ・ 2年次生： 1. 一般教養（21.0%） 2. キャリア教育（18.3%） 3. 基礎スキル（15.2%）
 - ・ 3年次生： 1. 一般教養（20.3%） 2. キャリア教育（15.4%） 3. 基礎スキル（14.7%）
 - ・ 4年次生： 1. 一般教養（23.2%） 2. キャリア教育（16.1%） 3. 専門/基礎スキル（14.9%）
- 学部別トップ3
 - ・ 経済学部： 1. 一般教養（21.8%） 2. 基礎スキル（17.5%） 3. キャリア教育（15.2%）
 - ・ 社会学科： 1. 一般教養（18.6%） 2. キャリア教育（16.8%） 3. 基礎スキル（16.4%）
 - ・ 社会福祉： 1. 一般教養（23.5%） 2. 学科専門（22.5%） 3. 基礎スキル（15.5%）
 - ・ 経営学部： 1. 一般教養（17.6%） 2. キャリア教育（16.6%） 3. 学部専門（14.7%）
 - ・ 国際教養： 1. 外国語教育（25.8%） 2. 一般教養（16.4%） 3. キャリア教育（15.2%）
 - ・ 法学部： 1. 一般教養（20.4%） 2. 学部専門（18.9%） 3. キャリア/基礎スキル（16.4%）
 - ・ BD学部： 1. キャリア教育（29.0%） 2. 一般教養（19.4%） 3. 外国語教育（16.1%）

▶ Q35【カリキュラムについての理解とGPA】

- カリキュラムについては、80%近くの学生がおおよそ理解している。
- 5年次～の学生については、カリキュラムに対する理解度が著しく低い。
- 経営学部、国際教養学部、ビジネスデザイン学部生のカリキュラムの理解度は、平均や他学部を下回る。
- 社会福祉学科生のカリキュラム理解度は、他学部に比べ高い。
- カリキュラムの理解度とGPAはおおよそ比例する。ただし、全く分からないと回答した学生の母数が少ないため、逆転する結果となる現象も起きている。

▶ Q36【本学の教育・授業内容への満足度】

- 4割近くの学生が本学の教育・授業内容について満足している。 ※とても満足8.5%、満足32.2%
- 半数（51.4%）の学生が、普通と回答している。
- ビジネスデザイン学部、法学部、社会福祉学科の満足度は比較的高い。
- 経営学部の不満度が若干高い。
- 2016年度のアンケート結果と比較すると、今年度の満足度は高い数値となっている。
- 2016年度：とても満足 6.6% 満足 23.4% 普通 53.5% 不満 12.5% とても不満 4.0%
- 2021年度：とても満足 8.5% 満足 32.2% 普通 51.4% 不満 5.3% とても不満 2.7%